



ICカードをかざすだけで、
給与と明細までスピーディーに発行。
1週間の業務が3日に短縮。
多様な雇用形態にも対応できる、
安心感のある勤怠管理を実現

ジュノー株式会社

ウエディングの撮影・音響・演出を手掛けるジュノー株式会社。年々売上を伸ばしており、2006 年以降はほぼ毎年支社を設立するなど、非常に勢いのある企業だ。規模が拡大するのに伴い、正社員・アルバイト・個人事業主のカメラマンなど、スタッフの数も増加。勤怠管理の負荷が年々大きくなっていた。それを解決するために導入されたのが『PCA 給与』と勤怠管理ソフトだ。現在、IC カードを用いてスムーズな勤怠管理を実現。給与以外の PCA ソフトも利用し、見事に業務の効率化に成功している。

導入システム

- ・ PCA 給与 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 会計 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 商管 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 商魂 9V.2R7 with SQL(15CAL)
- ・ PCA 減価償却 V.3 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 人事管理 9V.2 with SQL(2CAL)

導入の狙い

- ・ 複雑で工数のかかる勤怠管理を改善したい。
- ・ 会計士事務所に依頼している業務をなるべく社内で完結させたい。
- ・ 外注スタッフの管理をより確実に処理したい。

導入効果

- ・ 『PCA 給与』+『就業管理クロノス※1』+『テレタイム X-F※2』を導入。IC カードをかざすだけで、給与明細発行までスピーディーに処理。1 週間の業務が事実上 3 日に短縮。
- ・ 『PCA 給与』で年末調整も社内で行い、また、『PCA 減価償却』で月次の減価償却を把握し、試算表の精度も向上。
- ・ 『PCA 給与』によって、多様な雇用形態のスタッフの勤怠管理が可能に。
- ・ 『PCA 商管』の仕入管理を応用することで、「経費の見える化」に成功。

プロフィール

ジュノー株式会社

- 本社所在地：〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南 3-11-10
- 事業拠点：仙台、埼玉、東京、茨城、名古屋、関西、熊本、沖縄
- 創立：1983 年 9 月
- 社員数：170 名
- 資本金：5,000 万円
- 業務内容：ブライダルフォト&アルバム事業
ブライダルビデオ事業/ビデオアルバム事業
ブライダル音響事業/ステージエフェクト事業
デザイン事業/ウェイトドール販売事業
- URL：http://www.junowedding.jp

《統一されたウエディングは、美しい。》

ジュノー株式会社は主に、「写真」「ビデオ」「サウンド」「演出」と 4 つの事業に力を入れている会社です。

色々なコンテンツで完成されるウエディングの中で、これらの商品を別々の企業に発注するのは会場様にとって、大変な労力になってしまいます。私たちは、上記コンテンツをまとめることで、円滑なコミュニケーションを可能とし、スムーズで統一感のあるウエディングを創造します。

また、トータルプロデュースの大きなメリットとして挙げられるのが、会場様のご要望に対し素早いレスポンスでご対応できること。急な変更があったとしても、迅速にご対応することができ、それに付随して他のコンテンツもトーンを合わせ変更することができるので、会場様の運営管理などのご負担を軽減させることができます。

ジュノーは最高のパートナーとして、理想のウエディングをご一緒に創りあげます。

※ 1・2) :『就業管理クロノス』『テレタイム X-F』は、クロノス(株)の製品です。



ジュノー株式会社
管理部 総務経理課
課長
飯岡 大昇 氏



本社外観

導入前の運用と課題

○年々負荷が増す勤怠管理をスムーズに処理したい

1983 年の創立以来、着実に業績を伸ばしているジュノー株式会社。ブライダルビデオやブライダルアルバム の作成、ブライダルの音響演出などを手掛け、そのクオリティは高く評価されている。多くの婚礼会場や有名外資系ホテルなどと取引し、横浜本社以外に全国に 8 カ所の拠点を設定。ここ数年はスタッフも増え、勤怠管理にはかなりの工数が必要になっていた。

以前は内勤アルバイトの給与計算の場合、①タイムカードをタイムレコーダーで打刻→②勤務時間を Excel® に打ち直し→③その内容を出力し手書きの請求書に改め→④担当者が手計算。という時間も人員も必要な方法だった。同社には本支社合わせて内勤のアルバイトスタッフが約 200 名在籍している。月末に締められた勤怠データが横浜本社の管理部に届くのに約 10 日。25 日の振込に間に合わせるためには、1 週間以内での確認作業が求められ、この期間は残業も発生していた。

このような状況を解決するために、3 年前、給与ソフトの選定が行われた。

「PCA を含め 3 社のソフトを検討しましたが、1 社は機能的に物足りず、もう 1 社は予算オーバーでした。私は以前の会社でも『PCA 会計』を使っていたのですが、『PCA 給与』も体験版を利用し、改めて操作性の高さを実感し導入を決めました」(管理部 総務経理課 課長 飯岡大昇氏)

導入後の効果

○IC カードをかざすだけで、給与明細発行までスピーディーに処理

同社ではスムーズでスピーディーな勤怠管理を行うため、『PCA 給与』+『就業管理クロノス』+『テレタイム X-F』を導入。これは IC カードを利用する方法で、①スタッフは出退勤時に自分の IC カードを『テレタイム X-F』(タイムレコーダー)にかざす→②打刻データは自動で『就業管理クロノス』に吸い上げられ→③『就業管理クロノス』から勤怠データを出力し、『PCA 給与』へ受け入れて給与明細発行。つまり人間の手による作業は最初にカードをかざし、『就業管理クロノス』から『PCA 給与』へ勤怠データを受け入れるだけだ。部内での勤怠データの確認は行われてはいるが、以前のように Excel® 入力する必要はなく、時給などを『PCA 給与』にあらかじめ登録しておけば、給与明細発行まで自動的に処理される。

「勤怠管理業務は大きく軽減されました。今は余裕をもって以前と同じ 1 週間の時間を取っていますが、おそらく 3 日あれば 200 人分を処理できます。管理部の人間よりも、実際にカードを使っているスタッフから『便利だ』という声が上がっています」(飯岡氏)

○勤怠管理業務に必要な「安心感」

同社の場合、個人事業主のカメラマンや内勤以外のアルバイトスタッフなど、雇用形態の多様さが特徴だが、

これらの雇用形態にも『PCA 給与』がうまく利用されている。

「以前は現場でのアルバイトスタッフやフリーランスのカメラマンの勤怠・給与管理には Access® を利用していましたが、Access® はデータが蓄積されると重くなりやすく、経験のある方も多いでしょうが、メンテナンスが難しい面を持っています。そこでこれらの雇用形態についても『PCA 給与』を利用しています。入力そのものがしやすくなり、集計も取りやすい。さらにメンテナンスの負荷がなくなったことで、データベースとしての『安心感』が加わりました。お金、とりわけ給与を扱うわけですから、この『安心感』は非常に大事です」(飯岡氏)

以前は会計士事務所に依頼していた社員の給与計算も『PCA 給与』で行っており、源泉徴収などの年末調整も社内ですべて完結できるようになっている。

○『PCA 商管』をカメラマンなど外注業者の管理に応用

同社では『PCA 商管』もユニークな

方法で活用されている。同社がこだわったのは「仕入管理による経費の見える化」だ。同社の場合、仕入に該当するのが外注スタッフとして働くカメラマンだ。当然、材料費なども付随して発生するが、以前は仕入に該当する業者については Excel® で処理しており、どの業者にいくら払ったか程度の情報しか入力できなかった。

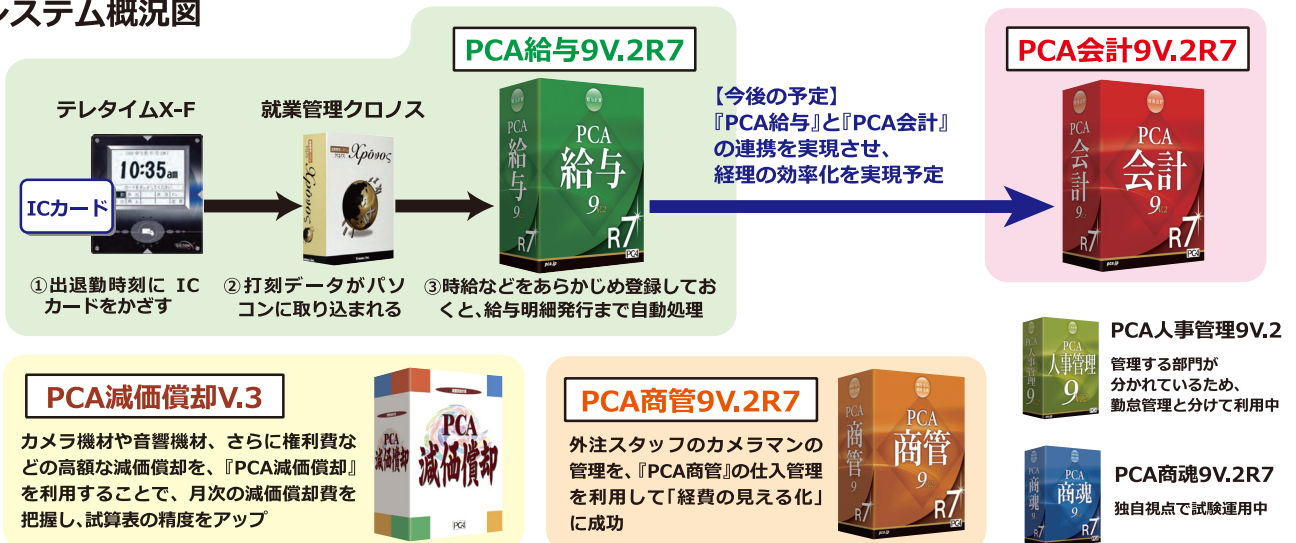
「そこで『PCA 商管』の仕入管理を使うことで、どの業者にどのような仕事でどの部署がいくら払っているのかを、いつでも抽出・確認できるようにしました。とにかく仕入の量が多いので、スピーディーに入力できることが大事です。前回入力した伝票を複写する機能は便利ですし、集計については商品コードや仕入区分を細かく設定できるため、かなり抽出しやすいです」(飯岡氏)

カメラ機材や音響機材などが不可欠な同社の場合、減価償却も大きくなる。加えて業界特有の権利金も発生する。これらも『PCA 減価償却』によって、「社内での見える化」を成功させている。



ジュノー株式会社 HP
<http://www.junowedding.jp>

システム概況図



ジュノー株式会社 《サービス内容》



- ・ 広告宣伝物
- ・ 写真(撮影・制作)
- ・ 空間演出
- ・ ビデオアルバム
- ・ イルミネーション演出
- ・ コンペンディア
(ダイジェストムービー)
- ・ ビデオ(撮影・制作)

「私共のような業種の場合、減価償却費はかなり高額になります。以前は減価償却についても会計士事務所に依頼し、期末にしか数字を確認できませんでした。しかし『PCA 減価償却』を導入したことで、月次で減価償却の数字を把握でき、試算表の精度を上げることができました」(飯岡氏)

今後の課題と展望

○ソフト単体か連携か、より効率化できる方法を採用

『PCA 給与』『PCA 商管』『PCA 減価償却』を非常に有効活用している同社だが、『PCA 会計』『PCA 人事管理』『PCA 商魂』との連携は今後、どのように考えているのだろうか？ 飯岡氏の回答からは、連携にこだわらなくても、先述したように独自視点でソフト単体を活用しても効率化は十分実現できるヒントが見えてくる。

しかし、連携にも意欲的だ。「まず『PCA 会計』については早期に『PCA 給与』との連携を実現させ、より効率的な経理業務を目指す具体的なプランがあります。キャッシュ・フローなどの機能もぜひ使いたいですね。」

また一方で、『PCA 人事管理』については、当社の場合は管理する部門が分かれており、特に連携はさせていません。会社によって違いはあるでしょうが、人事管理と勤怠管理が必ずしも

同一部署とは限らないと思います。
『PCA 商魂』については現状のマンパワーが足りず、まだ具体的なプランが立っていませんが、当社では一般的なメーカーさんとは違う使い方で、『PCA 商管』を便利に利用しています。
『PCA 商魂』でも独自視点で便利に使えるのではと期待しています」(飯岡氏)

ERP システムなども検討したそうだが、まずは現在導入している PCA ソフトをすべて稼働させ、そこで新たに見えてきた問題などを踏まえたうえでシステム環境を充実させたいそううだ。

○業界に先駆けた IT 環境を、
より上質な商品・サービス
へ還元

ジュノー株式会社は社員の平均年齢も若く、いろんなことにトライできる風土がある。システム環境についても同じだ。「この業界はIT化が遅れている傾向がありますが、当社は先駆けてIT環境を整えました。この環境を、今以上にクオリティの高い商品へと結び付けていきたいです」(飯岡氏)